

TTC ゆった〜り山行実施記録表

2023年12月12日 EW

山行名	渋沢丘陵 頭高山 (ずっこうやま 303.4m / 神奈川県)		
実施日	令和5年12月6日(水) 日帰 公共交通機関利用 / 現地集合		
天候 / 参加人員	天候: 晴れ レベル: ★ 参加者: 申込12名 / 実施9名		
パーティスタッフ	省略		
参加メンバー	省略		
費用(交通費) 600円	交通費: 小田急線本厚木駅〜渋沢駅 (@300x2) ¥600		
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間*
ガイドブック	2:15	—	—
計画	3:00	1:30	4:30
実行	3:15	1:55	5:10
歩行数: 16,645 歩			
実行コースタイム記録			
9:30	9:55~10:00	10:25~10:35	10:55~11:05
本厚木駅=渋沢駅・・・千村配水場・・・泉蔵時・・・白山神社・・・頭高山入り口・・・ (現地集合)			
11:20~12:00	12:40~12:50	13:00~13:30	14:00~14:20 14:30
頭高山・・・かりがねの松・・・見晴台・・・渋沢小入り口・・・渋沢駅 (現地解散)			
コースの概要、特記事項、反省事項等			
<p>頭高山(ずっこうやま)は秦野市南側に東西に続く標高~300mの渋沢丘陵の西端に位置し、八重桜の名所として有名ですが、今回は、まだ美しい紅葉が残る初冬の天気の良い日に、丹沢山塊の大展望と紅葉を楽しみながら、頭高山に登り、東に続く渋沢丘陵を震生湖手前まで辿る、累積標高差; 登り/下りとも約200m、歩行距離約8kmの低山ハイキングを計画し、9名のシニアメンバーで、静かな陽だまりの山道をのんびりと歩いて、紅葉と大展望を存分に堪能してきました。</p> <p>渋沢駅を出発し、最初は市街地のアスファルト舗装の歩道を歩き、途中から道標に導かれて、旧矢倉沢往還古道を松田・足柄峠方面へ向かいました。やがて、緩やかな上り坂の山道となり、頭高山南東の丘陵を越えて、松田に向かう矢倉沢往還と別れ、頭高山頂上に向かう山道に入りました。</p> <p>頭高山山頂への急坂にかかる手前の南斜面に、地元千村地区の有志が約30年前に植栽した八重桜やソメイヨシノの樹林や並木が広がる園地で一休みしました。立派なトイレをお借りし、北側が開け、東から西に、大山、二の塔・三の塔、塔ヶ岳、鍋割山、雨山、檜山、伊勢沢ノ頭へと表丹沢の山並みの大展望を楽しみました。また、なごりの紅葉に陽が射し、真紅に色づいたモミジ葉が、見事に映えて、ひときわ輝く紅葉の景色は、綺麗でした。</p> <p>頭高山頂上直下の急坂の登山道には、落ち葉が沢山積っていて滑りやすく、足場を選びながら慎重に歩きました。登り着いた広々とした頭高山山頂は、紅葉に染まり、ポツンと佇む東屋内の休憩卓にお弁当を広げ、久しぶりのゆった〜り山行で、おしゃべりが弾み、にぎやかなランチパーティを楽しみました。</p> <p>午後は、反時計方向に一回りするようにして頭高山を下山し、東に続く渋沢丘陵の陽だまりの尾根道を</p> <p>1時間ほど歩くと、急に展望が開け、ベンチがある見晴台に到着しました。見晴台に立つと、大山から鍋割山へと続く丹沢表尾根がきれいに見えました。丹沢の山並みを眺めながら、TTCの愛唱歌「丹沢の四季」</p> <p>を合唱し、来年どこに行こうか? 希望やアイデアを出し合い、来年度の年間計画を話し合いました。そのあと、渋沢駅まで歩いて戻り、14:30 現地解散といたしました。</p> <p>皆さんの協力のおかげで楽しい一日を過ごすことができました。有難うございました。</p>			

今回の山行では、実施日夜明前に関東海上を南岸低気圧が通過して、荒天が予想されていたため、実施可否判断が難しく、前日朝の天気予報まで待って、降雨は午前9時頃までに止み、以後急速に青空が広がるとの予報を確認して実施を決断。青空が広がるハイキング日和のもと、行動することができました。